LIP in HIRAKATA

ＬＩＰ（りっぷ）は、枚方市民発の
福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの
情報を掲載する地域密着型情報紙です。

２０１６年２月号

昨年からスタートした交野市のまちおこし写真展「あまんの恋」が、２月に初めて展覧会を開催できることになりました。
（２／７～８　ギャラリー天野が原）
モデルさんは、交野市で生まれ育った２０歳の学生さんです。展覧会にぜひお越しください。
ＷＥＢサイト　http://www.amannokoi.com/
撮影：花歌

- ［言いたい放題！ アッキー28 号 (12) アスペルガー？ ふつー？
- 第27回「天の川とんどまつり」開催
- 「七夕伝説より 宇宙（そら）の愛－天の川ものがたり」
- 難読地名と駅「京都の通り名の手まり唄」
- 今月の五行歌
- イベント紹介
- 編集局より／ＬＩＰ配布場所／会計報告

「**ＬＩＰ編集局**」　http://www.love-dugong.net/lip/

連絡先
メールアドレス：lip@love-dugong.net
TEL：070-5653-6913（18 時以降）　FAX：020-4665-8668
郵便振替口座　00920-8-120259（ＬＩＰ編集局）

LIP とは……Local Information Paper の頭文字をとったものです。

「私が女王様になったなら～」。私が子どもの頃、母はよくそんな歌を歌っていた。「高い着物は人にやり、貧しい人とお友だち～」。他の娘たちが「おいしいご馳走」「美しい着物と宝石」を望む中、１人だけそんなことを言う娘は馬鹿にされるが、噂を聞いた王子から「これこそ私の求めるひと」と求婚され妃となるという筋書きの歌だ。ＰＴＡでコーラスをして、メゾソプラノのすっと通る声が母の自慢だった。

私にとって、母はまさにそんな偉ぶらない女王様だった。頭の回転が早く、手先が器用。元教員の母は、婦人会やＰＴＡでいつも長の役を引き受けて活躍していた。「学校の勉強も運動もいつも一番だったのよ」。さらっとそんなことを言うが、全然それが自慢たらしく響かない。どこかおとぼけ、今でいう天然のひとだった。

村の小学校で男の子らが女の子に毛虫を投げつけ泣かせた時には、毛虫を引き裂き投げ返してやったという。実家の寺の墓地の横の空いた土地をこっそり「開墾」、トウモロコシをたくさん植えた。子連れの母親も買い物が楽しめるよう、親戚の勤めるデパートに託児室の設置を提案しに行った。そんな逸話には事欠かない。

母は一人息子を水の事故で失い、その後生まれた私と弟をとても大切に育ててくれた。食べるものや着るものにはとても気をつかい、小学生になった私が習い事をするようになると、電車やバスで通う先生のところに、弟も一緒に連れて必ず付き添った。

言いたい放題！　アッキー28号（12）　　アスペルガー？　ふつー？

私が一人で電車に乗ることをゆるされたのは、五年生になってからのことだ。口下手で不器用な私のことを母は心配したのだろう。一方で、器用で一言言えばその通りすぐに実行できる弟には、五年になる前から電車に乗って銀行に行きキャッシュカードでお金をおろしてくるというような用事も、平気で頼んでいた。母と弟は気質が似ていて、よく気が合った。「お父さんとお姉ちゃんは馬鹿やけど、まじめで努力家」と評価され、「だから尊い」と言ってくくられた。

父と母は見合い結婚だが、見合いの場で互いに一目ぼれした。結婚前母は熱烈な思いを綴って父に手紙を送り、それを読んだ父は、こんな夢のようなことを書く女性に現実の生活が耐えられるだろうかと結婚をためらったという。しかし姉に諭され、母と結婚した。そんな話を母は知らない。実際には終戦後物のない時代に貸し間での新婚生活から始まり、父が病気で療養生活を送るようになった時には母が再就職して一家の家計を支えたのだから、父の心配は杞憂に終わったといえよう。

そんな母だが、子育てでつまづいた。目から鼻へ抜けるようだった弟が不登校となり、家庭内暴力、引きこもりとなった。母はあちこちに相談に行くのだが、あと一歩というところで退いてしまう。いつまでも問題は解決せぬまま、年月だけが流れた。

その後父は亡くなり、母が認知症を患い施設に入所したのをきっかけに、弟は自立への道をたどることになった。その時に出会った援助職の女性がびっくりするようなことを言ってくれた。「あなたは発達障害の一種、アスペルガー症候群じゃないかしら。だから生きづらいのね」と弟に言った後に「お母さんもそうでしょう」と言ったのだ。

「えーーっ!?」弟のことは薄々感じていたが、母については思いもしないことだった。

しかし、考えれば思い当たることがたくさんあった。人を信じやすく、高級化粧品のセールスをする友人に勧められ高価な化粧品を買っては後悔していた。人の言うことをそのまま受け取った。言葉の裏にあるものに気づくことができなかった。

とてもかなわないと崇拝していた母の姿が、違う角度から光に照らされ、まったく異なる姿に見えてきた。

全能から障害へ。数多い冒険談も、裏を返せば、誰もやらないことをやってしまう、エキセントリック。ずるさがなく、公平で真っ正直な性格も、偏向するということができなかったのだ。

もしも弟のことがなければ、誰もアスペルガー症候群という言葉を母に結びつけて考えることはなかっただろう。そう思うと不思議だ。

（著者プロフィール）　もうすぐ還暦の主婦。上の子が自閉症で、親の会や、市民活動など、がんばってやってます。平日はパートで勤務。

第 27 回「天の川とんどまつり」開催

～交野ケ原を流れる天の川でとんどの火を囲み、無病息災を祈りました～

1 月 16 日土曜日、スーパー「イズミヤ枚方店」近くの天津橋上流の天の川河川敷で、冬の風物詩となっている「天の川とんどまつり」を開催しました。

毎年、松の内（正月）が開ける 15 日（小正月）に合わせ、天の川七夕星まつりの会の主催で行っており、今年で 27 回目になります。

10 時半の呼び込み和太鼓で開会式が始まり、伏見枚方市長からのメッセージの会員代読後、ご来賓の野村枚方市議会副議長からご挨拶をいただきました。(大森枚方市議会議長は他のご公務のためメッセージをいただきました。市長も他のご公務終了後駆けつけてくださいました。)

11 時の点火式では、恒例の年男によりとんどに火が点けられ、いよいよまつりの始まりです。ご来場された人たちが次々と持ってきた注連縄をとんどの火に投げ入れ、無病息災を祈られていました。また、恒例の甘酒のふるまいには長い列ができていました。

ステージでは、和太鼓や唄、空手演舞、沖縄民謡、大道芸などが賑やかに行われ、街にはちんどんさんがまつりを盛り上げてくださいました。

ブースでは、善哉やうどん、東北大震災支援物産展、七夕グッズや、子供用の杵も用意し、来場した皆さんにお餅つきも楽しんでもらいました。

今年からの企画として、国交省淀川河川レンジャーのブースを設け、天の川の自然に触れてもらいました。また、天の川の河原でのとんどということで、書初め短冊として短冊に願い事を書いて笹につけてもらい、とんどの火でお焚き上げをしました。

天の川七夕星まつりの会は平成元年に枚方に移り住んできた人たちでサークルとして作られ、地域に伝わる七夕などの伝承文化を広く伝え、次世代に伝えていくことを目的にしていますが、写経や他界した家族の遺品など、ゴミとしては出せないものをとんどでお焚き上げに持ってくる方も多く、とんどなどの伝承文化は人間の知恵として実用的な面もあることを感じます。

地域の方たちのご理解とご支援、ご寄附、各物品のご提供、会場にお越し下さった方からの募金、広報していただいたプレス関係、そして設営から撤収まで多くのボランティアの方たちの助けにより開催することができました。厚く御礼申し上げます。

（天の川七夕星まつりの会　代表　廣瀬雅雄）

冬の夜空に描いてみよう、七夕伝説より、影絵と人形劇のコラボ

「宇宙（そら）の愛　ー天の川ものがたりー」

メセナひらかた会館で無料公演

２月11日（祝）午後２時より、メセナひらかた会館にて、枚方市男女共同参画社会づくり支援講座の一環として、人形劇「七夕伝説より　宇宙（そら）の愛ー天の川ものがたりー」が上演されます。

「枚方・交野の伝説を45分の人形劇にしました。最初のシーンは影絵で、七夕の笹の向こうに天の川がピカッピカッと輝く。とても美しいですよ」と実施団体の「夕づるの会」の木谷弥生さん。

「夕づるの会」は、2014年９月結成。枚方市の初級人形劇作り講習会を受講し、その後やがて人形劇活動から離れていた人たちが、当時の講師であった女性の喜寿を祝おうと集まったのをきっかけに、彼女を中心に活動を再開しました。

人形も手作り、脚本もオリジナル。人形や衣装を作りながら、劇の練習をします。操る人の手の大きさによって人形の動きも変わってくるので、微妙な調整が必要です。声を出して脚本を読み、手を動かして衣装を縫って。練習を重ねて、より豊かな表現を目指します。

特に、「宇宙の愛」は影絵とのコラボレーション。会場を真っ暗にできるきちんとしたホールでないと上演できないため、今回メセナひらかた会館での公演は貴重な機会です。自分の考えをイキイキと語り、力強く生きる織姫。その行動力に驚きながらもひかれていく彦星。恋に夢中になった二人がそれぞれの役目を怠り、災害が起こって地上は大混乱……。ストーリーの展開には、しっかり今風の世相も取り込まれています。

「宇宙の愛」の公演後には、２月20日（土）、枚方の民話「鈴見の松」を題材にした人形劇「おおきにな！」を枚方市立中央図書館で上演予定。「枚方の魅力を発信していきたい」と語る木谷さん。大きく羽ばたいていく「夕づるの会」のこれからの活動が楽しみです。

（ＬＩＰ編集局　豊高明枝）

枚方市男女共同参画社会づくり支援講座
「七夕伝説より　宇宙（そら）の愛
ー天の川ものがたりー」
日時：２月11日（祝）　開演　午後２時
（開場　午後１時45分）
場所：メセナひらかた会館　６階　大会議室
参加費：無料
定員：150人（申込先着順）
申込：２月１日より受付。
実施団体：夕づるの会
保育：無料（申込は２月７日まで。生後６か月以上３歳まで。申込先着６人）
申込み・問合せ：（特活）ひらかた市民活動支援センター
電話：072-805-3537　FAX：072-805-3532
Ｅメール：info@hirakatanpo-c.net

人形劇公演
枚方の民話「鈴見の松」より「おおきにな！」
日時：２月20日（土）　開演　午後３時
（開場　午後２時45分）
場所：枚方市立中央図書館　６階　多目的室
参加費：無料
定員：70人（申込先着順）
申込：２月１日（月）９時30分から。中央図書館５階参考資料室で先着順に受付。電話申込も可。電話050-7105-8150
主催：枚方市立中央図書館・夕づるの会

枚方及び近郊の難読地名と駅（5）

京都の通り名の手まり唄

前回まで枚方を中心に難解な地名・駅名を抽出して、何故その様な地名で呼ばれているのか？　何故その様な漢字で書かれているのかを調べて書いてみました。難解な地名駅名はまだまだ沢山有りますが、それを解説する資料の持ち合わせが無くなってきました。はっきり言えば難解な地名、駅名を羅列は出来ますがそれを何故そう呼ばれるのか、何故その様な漢字が使用されているのかを解説する資料の持ち合わせが無くなりました。そこで昨年の終わりから何を書こうかと迷っていました所、先月まで使わせて頂きました難解な地名・駅名の資料（友人がインターネット等で調べられた）のページを見ていましたら、面白いものを発見しました。

それは昔から京都で子供たちが歌っていた、東西に走る町の名前を歌った手まり唄です。この唄は京都ではそこそこ有名で、昭和の初め頃に生まれた京都の女性の方なら一度は聞かれた事があると思います。

何はともあれそのわらべ唄の全部を書いて見ましょう、ああその歌なら知っていると言われる方も多いと思います。

まるたけえびすに　おしおいけ　あねさん
ろっかく　たこにしき
しあやぶったか　まつまんごじょう　せった　ちゃらちゃら
うおのたな　ろくじょうさんてつ　とおりすぎ　ひっちょう　こえれば
はっくじょう　じゅうじょう　とうじで
とどめさす

上記の唄を解説しますと、まる＝丸太町、たけ＝竹屋町、えびす＝夷川、に＝二条、おし＝押小路、おいけ＝御池、あね＝姉小路、さん＝三条、ろっかく＝六角、たこ＝蛸薬師、にしき＝錦小路、し＝四条、あや＝綾小路、ぶっ＝仏光寺、たか＝高辻、まつ＝松原、まん＝万寿寺、ごじょう＝五条、せった＝（雪駄屋町）、ちゃらちゃら＝（鍵屋町、銭屋町）、うおのたな＝（魚棚）、ろくじょう＝六条、さんてつ＝（三哲）、とおりすぎ、ひっちょう＝七条、こえれば、はっ＝八条、くじょう＝九条、じゅうじょう＝十条、とうじ＝東寺、でとどめさす。

上記で現在は町名としては残って居らず、違った町名で呼ばれていますのは、①雪駄屋町通＝揚梅通、②銭屋町通＝的場通、③魚棚通＝六条通に、④三哲＝塩小路通の四通りの名称です。

ご存じの通り京都の町の都心部は平安京が出来た時の様相を今に伝えております。当時の町は今と違いましてもっと西に広がっていました。平安京が出来ました当時は、大内裏が町の中心の北の端にあり、その南側の真ん中に朱雀門が有り、町の中心通りとして朱雀通りが南に走っており、その突き当たりが羅生門（芥川龍之介の小説で有名です）でした。

当時の朱雀通りは今の千本通りの辺りと考えられます。現代の千本通りは三条あたりで大きく東にずれ四条通辺りで大宮通となって東寺の横を走っていますが。

創建当時の大内裏が今の御所に変わったのは、南北朝時代（１４世紀半ば）頃で、その当時の里内裏（内裏が火災で焼失した場合などの為に設けられた避難場所）の一つであった土御門東洞院殿の地を正式の皇居とされ、明治２年に明治天皇が東京行幸の時までその地が内裏として存続しました。明治以降はそれが京都皇宮（京都御所）と称されています。

今ではよく聞かれる東西の通りは北から今出川、丸太町、御池通、四条通、三条通、五条通、七条通、南北の通りは東から東山の下を通る東山通り、川端通り、それから鴨川を西に渡って、河原町通り、烏丸（からすま）通り、堀川通り、千本通り、西大路通り、等だと思います。

皆さんご存じの様に京都の住所は今でも、南北の通りに東西の通りをつけてその下に上がる、下がるを書きます。それで自分の家の位置が地図上指定することが出来る訳です。

例えば〝烏丸丸太町上がる〟と言えば、地下鉄〝国際会館〟行きの丸太町駅を御所の横に出て来た所だと大体の判断が付きます。この様に東西の通りの位地を知って置けば住所を聞くだけでその位置が判断できるわけです。今のナビの様ですね、此の唄を知って置けばお互いに会話がスムーズに流れる訳です。

大阪にも是とよく似た事があります。大阪も船場・島之内は京都の町をまねていますので碁盤の目の様になっています。ガスビルの位置は〝御堂筋・平野町の西北角〟ですし、御堂筋の本町通りの西北角と言えば北の御堂さん（相愛学園）の在る所と直ぐ判ります。

此の大阪の事をもっと詳しく書きますと大阪の町の生い立ちを書くことになり、又長く続けることになると思いますので次回にでも譲ります。

小田川徳男

LIPが選ぶ

今月の五行歌

ばあちゃん
だいだいだいすき
しょんぼりしないでね
熱いレターを 手に
霞んだ心も 晴れていく

えみこ

ゆっくり噛むと
じゅわっと 口の中
ひろがって脳天まで 甘い
お米のご飯
こんなにおいしかったんや～

桑本明枝

苦い思い出は
たくさんある
楽しかったことも
なくはない
美しい 古希の年明け

ピチ

【五行歌ひらかたミニ歌会】
☆毎月一度月曜日午前10時半～12時半、メセナひらかた諸活動室で集まっています。
問合せ akkie.toyotaka@gmail.com
または、090-5893-5635（とよたか）まで

【参加者募集】

■＝俳句初学講座＝■

俳句の故郷、松山市に本部をおく俳句結社 櫟（くぬぎ）がこれから俳句を始めようとする方に開く俳句講座です。何歳になっても楽しめる俳句。気軽に楽しく俳句を始めてみませんか。

▼日時：毎月第３金曜日　９時30分～11時30分
▼場所：サプリ村野　102号
▼会費：月１回500円　　▼持ち物：筆記用具

■＝櫟俳句会枚方句会例会＝■

▼日時：毎月第３土曜日13時～16時
▼場所：メセナひらかた　諸活動室

共に、連絡先：櫟俳句会　杉山和美　090-2104-2056
＊日時の変更があります。あらかじめご確認ください。

【参加者募集】サプリ村野大学　講座「発達障害って何？」

「発達障害」って何？　どんなことが困るの？　一緒にいる人はどんなことに気をつければいいの？　講師のお話を聞いて、一緒に考えてみませんか？

▼日時：２月20日（土）　11時00分～12時00分
▼場所：サプリ村野　南館２階　201
▼講師：石打澄枝さん（元小・中学校教員）
▼定員：30人（先着順・申込受付期間：２月１日～15日）
▼参加費：無料
＊保育はありませんが、お子さん連れの参加もＯＫです。
▼申込み・問合せ：(特活) ひらかた市民活動支援センター
　電話：072-805-3537　FAX：072-805-3532
　Ｅメール： info@hirakatanpo-c.net
▼実施団体：放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」
（サプリ村野大学の一環として行います。）

■とれぶカフェ■

歌あり、踊りあり、電車の話あり!?　皆さん、お茶しにきませんか♪

▼日付：2月26日(金)
▼時間：18時30分～20時30分
▼場所：ラポールひらかた4階　ミーティングルーム1・2
▼参加費：高校生以上500円　小・中学生、障がい者300円
　　ヘルパー・幼児…無料

イベント・サークル・ボランティア情報

☆☆☆　写真展「あまんの恋」　☆☆☆

交野市出身または交野市で活躍する女性を、地元交野市で撮影した写真を展示します。
日時：2016年２月７日（日）11：00～17：00（メイン）
　　８日（月）10：00～15：00
場所：天野が原ギャラリー（交野市天野が原町5-20-5
　　ゆうゆうセンター正門を北へ100ｍくらい）
入場無料
後援：星のまち観光協会
主催：あまんの恋プロジェクト（花歌×Cut wa Coconi）
　　http://www.amannokoi.com/

【冬のボランチュール　参加者募集】

ボランティアをしてみたいけれど、きっかけがなくて…
そんなあなたのためのボランティア体験プログラムです。
知的障がいのある子どもたちとクッキングやレクリエーションを楽しみます。同世代のスタッフがサポートします！安心してご参加ください。
●日時：3月6日（日）10：30～16：30頃
●場所：牧野生涯学習市民センター
●参加費：500円（保険・昼食代として）
●定員：10名（先着順）
●対象：高校生～30歳代
●申込み・問合せ：NPO法人　北河内ボランティアセンター
Tel/Fax：072-848-4166
E mail:npo-kvc@kit.hi-ho.ne.jp

「第2回　寝屋川ハート・アート展」

今回も寝屋川市内の医療機関、作業所に通われているメンバーの作品(絵画、写真、手芸など)を展示。こころに響く作品、温まる作品、ハッと気づかされる作品ばかり。
ぜひ皆さんのハートと出合う作品をご覧下さい。
■日時：3/24(木)～3/26(土)
■会場：寝屋川市市民ギャラリー（1）内
　(駅前図書館内　大阪府寝屋川市早子町23-2)
■入場料無料
特設サイト(HP)
http://neyagawaheart-art.jimdo.com/

音楽でリフレッシュ！

快い音でゆったりとした楽しい時間を仲間と一緒に思いっきり声を出して心身共にリフレッシュしませんか？
日時：２月４日（木）13：00～14：30
場所　南部生涯学習市民センター　２階　音楽室
日時：２月27日（土）14：00～15：30
場所　サンプラザ生涯学習市民センター　５階　視聴覚室
参加費：500円（初回無料）
申し込み・問合先　音楽でリフレッシュ！　　担当：中嶋
　　ＴＥＬ：０７２－８４０－５４９３

☆☆☆　やんちゃっ子チャリティーコンサート　☆☆☆

★第１部　Ｉ／Ｏ（アイオウ）ライブ（with上平知子）
★第２部　みんなで歌いましょう
　出演：お姉さんフォーク　Ｉ／Ｏ
　　京都ピアノとうたの音楽ひろば
日　時：　２月７日（日）14：00～16：00
場　所：　楠葉生涯学習市民センター
参加費：　無料（会場でカンパをお願い致します。）
主　催：　やんちゃっ子　ひらかた
連絡先：090-6328-4006（佐藤）

◆学習会「これからの若者は
　　自分の生活をどう組み立てるのか？」◆

若者たちが、みんな生きづらいといわれる時代です。
その中で、わが子の未来をどう描きますか？
日　時：２月10日（水）　10時30分～12時
場　所：ラポールひらかた4階　研修室３
講　師：地域生活支援センター　にじ
　　相談支援専門員　　森田 茜 さん
定　員：20人
参加費：無料
申込み・問合せ：０９０－５８９３－５６３５（とよたか）
　　c-k@love-dugong.net
主　催：放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」

2015年度 ふらっと市民セミナー

◆暮らしに活かす憲法～憲法24条からのメッセージ～◆
憲法24条を中心に、憲法起草に関わった一人のアメリカ人女性の思いや、「女性の視点で憲法を読み解く」ことの意義などを考えながら、共に学んでいきましょう。
▼日時：３月12日（土）　午後１時30分～３時30分
▼場所：寝屋川市男女共同参画推進センター「ふらっと ねやがわ」
▼講師：若尾典子さん（佛教大学社会福祉学部教授）
▼定員：30人（申込順）　　▼参加費：無料
▼一時保育：生後６ヶ月～就学前（要予約）
　　人数は年齢により２人～６人（無料・申込順）
　３月８日申込締切
▼申込み：電話 072-832-5580 ＦＡＸ 072-802-8350
　メール flat@office.city.neyagawa.osaka.jp

「知的障害者」を普通高校へ北河内連絡会２月定例会案内

いよいよ受験の季節になりましたね。いろいろな不安や、課題など出し合って、春には、喜び合えるようにしたいですね。ぜひ、お集まりくださって、話し合い、元気になって、いい結果を勝ち取りましょう。
○２月２１日（日曜日）　午後１時半～４時半　定例会
　　４時半～５時　事務局会議
○ラポールひらかた　４階　ミーティングルーム１．２
○・３学期の子どもたちの様子と課題の交流
　・受験を前にしての今と課題
　・「医療的ケア」のいる子どもたちを巡って
○３月２７日（日曜日）の北河内連絡会の学習会について
○その他
■連絡先：072-867-1120(新) 090-1960-3469(松森)
■主催：知的障害者を普通高校へ北河内連絡会

「戦争のための教育は許さない２・11集会」

・日時　2016年2月11日　開場13時～16時
・場所　大阪市立港区民センター(大阪市港区弁天2-1-5)
　　JR環状線・地下鉄中央線「弁天町駅」西へ徒歩10分
■第１部　パネルディスカッション「戦争する国に抗して、いま民主主義を問う」
　発題　高作正博さん(関大法学部教授)
　パネラー　ＳＡＤＬ・若手弁護士・グループＺＡＺＡ
■第２部　浪花の歌う巨人パギやんミニライブ
　各市民団体からの発言
　教育の現状を踏まえながら府市民運動の集まりを 実行委員会を立ち上げて取り組んでいます。
・資料代　700円
・手話通訳あります。

LIPは、次の場所に置かせていただいてます。

☆ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかたNPOセンター
☆ 枚方市ボランティアセンター ［ラポールひらかた内　072-841-0181］
☆ 北河内ボランティアセンター ［枚方市磯島茶屋町 20-1-101　072-848-4166］
☆ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた ［枚方市招提南町 2-50-1　072-850-4400］
☆ コミュニティーカフェ ラ テール ［枚方市西禁野 1-3-27 禁野口バス停前　072-848-0418］
☆ NPO法人 りりあん ［枚方市長尾元町 6-39-15　lilian@kcat.zaq.ne.jp］
☆ 婦人洋品店 シャルム ［枚方市南楠葉 1 丁目 2-16 くずは公民館向かい　072-850-1362］
☆ 喫茶 Dik Dik ［枚方市岡本町 8-17　072-846-5377］
☆ 街かどデイハウス 藤阪愛逢 ［枚方市藤阪元町 2-27-1　072-855-6978］
☆ 泉屋 楠葉店 ［枚方市楠葉並木 2-2-2　072-868-3060］
☆ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ ［枚方市堤町 2-1-103　072-861-6360］
☆ 京阪総合会計事務所 ［枚方市西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301　072-805-5252］
☆ ソーイングの店 みなよし ［枚方市香里ヶ丘 3-11-3-4　072-854-0756］
☆ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび ［枚方市南楠葉 1-30-1 エクセレント辻ビル 203 号室　072-856-9177］
☆ WAVE34(ボウリング場) ［枚方市田口 4-11-8　072-848-0450］
☆ ヘアースタジオぱぺぽ ［枚方市南楠葉2丁目 4-3　072-850-9070］
☆ 枚方市役所(市民活動課・環境総務課・人権政策室) ［枚方市大垣内町2丁目 1-20　072-841-1221］
☆ 枚方市役所 津田支所 ［枚方市津田北町 2-25-1　072-858-1502］
☆ (財)枚方市文化国際財団 ［枚方市岡東町 8-33 市民会館内　072-843-1122］
☆ 枚方市総合福祉センター ［枚方市津田東町 2-26-1　072-858-5835］
☆ (社福)やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ぽぴるす ［枚方市大字尊延寺 2200　072-859-0245］
☆ NPO法人パーソナルサポートひらかた ［枚方市中宮山戸町 10-12-105　072-848-8825］
☆ 自閉症療育センター Link ［枚方市岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階　072-841-2411］
☆ 紅茶専門店VIE ［枚方市南楠葉 1-1-34　072-856-2355］
☆ shot bar カボチャソース ［枚方市牧野下島町 14-22　072-809-7676］
☆ ポパイ商店 ［枚方市山之上2丁目 16-9　072-846-7232］
☆ NPO法人ハートネット ［枚方市村野西町1-27　072-805-4373］
☆ クッキー工房おれんじはうす ［枚方市交北3丁目 3-10　072-856-8378］
☆ 陶器食器のお店 a new sprout ［枚方市堤町 2-14　072-846-9550］
☆ 雑貨／カフェ ルポ・デ・ミディ ［枚方市堤町 10-12　072-843-1525］
☆ 渦潮ベーカリー楠葉店 ［枚方市町楠葉 1-30-6　072-856-5420］
☆ 輝きプラザ「きらら」 ［枚方市車塚 1-1-1］
☆ 三代目たくちゃん ピーコ ［枚方市牧野阪2丁目 7-30　080-3785-1728］
☆ MIKIHOUSE キャラメル ［枚方市牧野阪 2-9-15-105　072-857-6626］
☆ 株式会社 丸天酒店 ［枚方市牧野阪 2-5-23　0120-39-7003］
☆ MogaJogaDining 枚方宿 ［枚方市堤町 2-15　072-846-3535］
☆ bar moonshine ［枚方市宇山町4−8　072-866-5667］
☆ とくふうホーム ［枚方市大字尊延寺4592−24　072-858-4058］
☆ 音楽療法スペース ウッドヴィレッジ ［枚方市牧野下島町 9-12　070-857-3540］
☆ みんなでつくる広場「ちょこっと」 ［枚方市楠葉野田 2-30-8　072-856-9439］
☆ スパバレイ枚方南 ［枚方市津田山手 1 丁目 24-1　072-808-4126］
☆ やすらぎの丘霊苑 ［枚方市大字尊延寺 4588 番 4　072-896-1212］
☆ 苺のいえ ［枚方市甲斐田町5番25号ウエストヒルズ102号 072-805-2660］
☆ ちいさいほいくえん みんなの里 ［枚方市楠葉並木 2-28-4　072-845-6814］
☆ 韓国茶が楽しめるカフェ「Cafe Cajjo」 ［西禁野 2-8-3　072-848-8481］
☆ くずはアートギャラリー ［枚方市楠葉花園町 15-1-Z302 本館ハナノモール 3 階］
☆ カフェサリー ［枚方市山之上4丁目 30-1 竹本ビル1階　072-844-0011］
☆ カフェ ル ポン ［枚方市高田2丁目 20-17　072-396-8785］
☆ 「市民の広場」ひこばえ ［枚方市大垣内町 2-8-27 シンエービル別館 A 室　072-846-8780］

◇　◇　◇　◇　◇

☆ フレッシュベーカリー ラッキー ［寝屋川市早子町 18-1　072-821-0413］
☆ ヘアーサロンおおまち ［交野市私部 3-17-2 072-891-5024(予約優先)］
☆ えんでら村作業所 ［交野市天野が原町2丁目 14-20　072-893-4890］
☆ 小規模通所授産所施設 ミルキーウェイ ［交野市天野ヶ原町2丁目 14-20］
☆ 交野市役所内わいわいネット ［交野市私部 1 丁目 1-1］
☆ 大阪府衛生会附属診療所 ［高槻市奈佐原 955　072-696-3351］
☆ 宇治田原社会福祉事務所 ［綴喜郡宇治田原町荒木天皇 2　0774-88-2394］
☆ むく福祉会 ワークホーム れっつ ［綴喜郡宇治田原町贄田船戸 38-1　0774-88-5846］
☆ ベビーフェイスプラネッツ松井山手 ［八幡市欽明台北1 ソフィアモール内　075-982-3271］
☆ 「月桃の花」歌舞団 十三スタジオ ［大阪市淀川区木川西 3-4-20 2F　06-6885-8475］
☆ 西宮男女共同参画センター ウェーブ ［西宮市高松町 4-8　0798-64-9495］
☆ ふらっとねやがわ ［寝屋川市香里南之町 16 番 15 号JAビル香里 4F　072-832-5580］
☆ 大東市立生涯学習センター アクロス ［大東市末広町 1-301　072-869-6505］
☆ フェルデンハウス北斗星 ［寝屋川市田井町 5-26　070-5435-1965］
☆ ふれあいプラザ香里 ［寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園店1階 072-835-3335］
☆ 青年の家 ［交野市私部2丁目 29−1　072-892-7721］
☆ 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
［大阪市中央区大手前 1 丁目 3-49 06-6910-8500］

イラスト　表紙、P6：平井由恵

ＬＩＰ会計報告（前号以降）

金額(円)	内容
54,231	前号から繰り越し
▼420	郵送代
▼500	１月ロッカー代
▼60	原版プリント代
▼4,180	１月号印刷代
49,071	計（次号へ繰り越し）

ＬＩＰはみなさんの寄付で成り立っています。応援よろしくお願いします！

■昨年、実家の母親の介護のために、これまでにない、いろいろなことを経験しました。

わたしの実家には、屋内トイレがありませんでした。母親にとっては、屋外トイレは不便この上ないものになり、急きょ、屋内トイレを取り付けてもらう必要がありました。

大阪でこんな工事をしようとすると、工事の業者を選んで、見積もりを取って、などと煩雑な仕事をこなさなければならなくなると思いますが、実家では、電話一本で済んでしまいました。水道工事屋さんはわたしの母親の教え子（その昔、代用教員をやっていた）だということだし、勝手に測量して勝手に工事してもらって、あっという間に室内トイレができてしまいました。

さらに部屋のドアを引き戸に交換する工事、室内の段差をなくす工事、お風呂も昔ながらのタイル張りのものから、段差のできるだけ少ないユニットバスに。また、ベッド、トイレがセットになった部屋に、エアコンも設置してもらう工事まで、近所の建具屋さん、電気屋さん、水道工事屋さんと、どれも電話一本で完了。なにしろ、家族構成から家のなかの構造まで、お互い知り尽くしている田舎の濃厚な人間関係のたまものです。地域の自営業の人たちだけで、ほとんどの工事や生活に必要なものが事足りてしまい、また、お金もその地域で行ったり来たりする、地域経済のお手本のような経験をしたのでした。

地域経済とはこういうものなのか。田舎ではまだまだこんな経済・人間関係が健在なのかとびっくりするとともに、いろいろかんがえさせられました。　（w）

■ＬＩＰは市民が伝えたいことを書き、市民が印刷し、市民が配布する地域密着型情報紙です。あなたも紙面に登場してみませんか？